

タキステップMW・3W(踏み面タイプ)+ベンチレイシートの施工手順は営業担当者までお問い合わせください。



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと



- 十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 廊下・踊り場用シートと段差が生じないように溶接を仕上げてください。
- 端部処理は、タキステップの前垂れ両端部50mmを除く全周を行うことを標準工法としております。
- タキボンド#601、#701は使用できません。

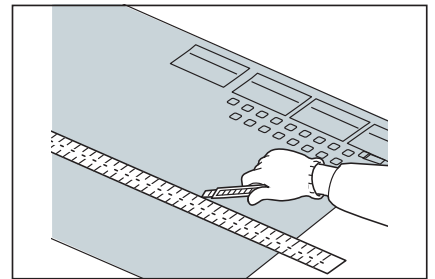
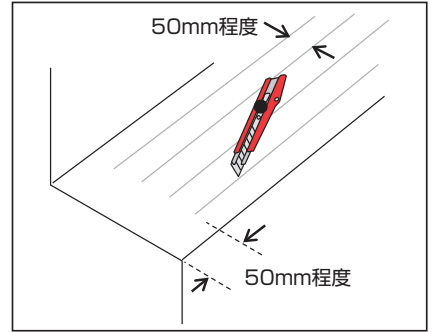
1. 下地・使用環境の確認

- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- 施工開始から養生終了までの間に5℃以下(気温・下地)になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。**

塗膜防水下地の上に張り込む場合

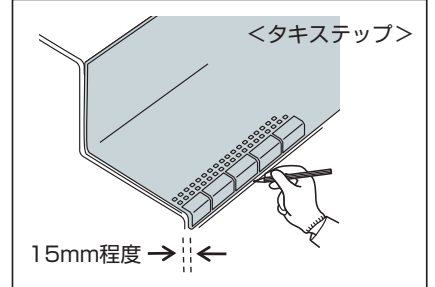
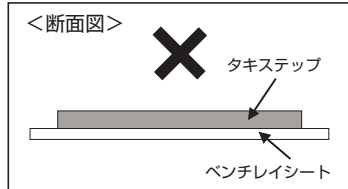
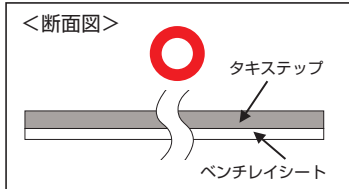
- 下地に塗膜防水材が塗布されている場合、モルタル層に含まれる水分を通気させるため、塗膜防水材にカッターナイフで切り込みを入れてください。(モルタル層に達するまで)

- 階段 端部を50mm程度空け、階段と並行(幅)方向に50mm程度の間隔で切り込みを入れてください。
- 踊り場 階段と並行方向に約50mm間隔で切り込みを入れてください。



2. 裁断・けがき

- まず、最下段の階段蹴込み面の幅・高さを測定し、タキステップを裁断して、蹴込み部分用シートとして使用してください。(残った材料は、最上段の踊り場で使用します。)
- スケール・直定規で階段の幅・奥行の寸法を測定し、タキステップとベンチレイシートを仕上げ寸法に裁断して、下地に鉛筆等で仕上がり寸法をけがいてください。
- 端部はタキステップとベンチレイシートを同一の長さにしてください。**



タキステップ

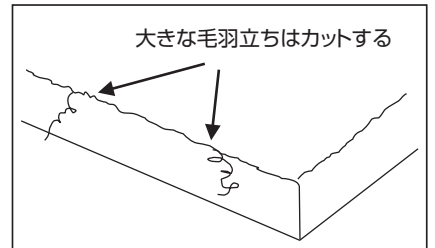
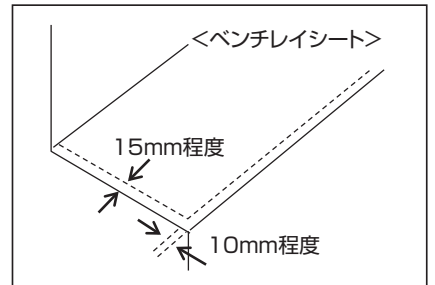
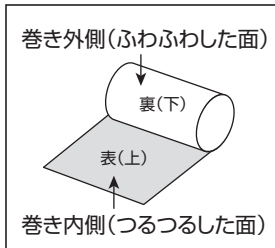
端部処理材のタキシル#600がササラ面にかからないようにするため、タキシル#600仕上げ代として15mm程度の隙間が空くように裁断してください。

ベンチレイシート

右図のようにササラ面から15mm程度、段鼻部から10mm程度の隙間が空くように裁断してください。

※大きな毛羽立ちちは、端部処理の仕上げを悪化させますので、必ずはさみ等で切り取ってください。

- ベンチレイシートには裏表があります。
巻き外側(ふわふわした面)を裏(下)、巻き内側(つるつるした面)を表(上)にして施工してください。
- 裏表を間違えて施工した場合、**十分な接着強度が発揮されません**ので、ご注意ください。



3. 接着剤(タキボンド#607)の塗布

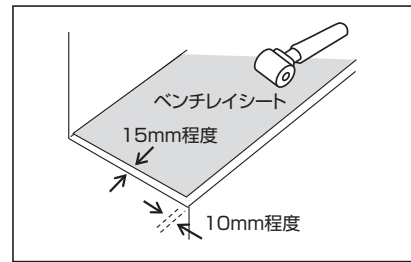
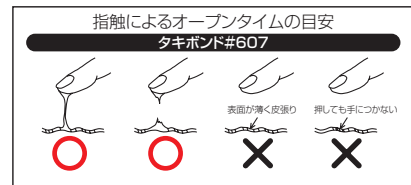
- ベンチレイシートを張り付ける位置に接着剤(タキボンド#607)をクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを取ってください。
- 張り付けは最下段から順に上段へ向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業者が最下段にいるようにしてください。

下地の上にベンチレイシートを施工する場合のオープンタイムの目安(20℃)

※通常より短めになります。

対象(20℃)	オープンタイム	張り付け可能時間
ベンチレイシート	0～5分	5～10分

<下地の上にベンチレイシートを施工する場合>



4.ベンチレイシートの張り付け、圧着

●オープンタイムを取った後、最下段からベンチレイシートを張り付け、ハンドローラーを用いて十分に圧着を行ってください。

※ベンチレイシートには裏表があります。毛羽立っている面を下にして張り込んでください。

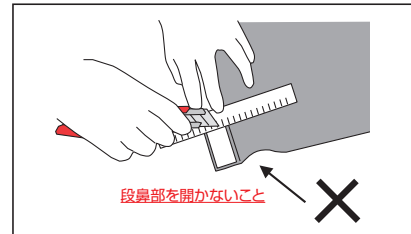
※ベンチレイシートのカット断面に毛羽立ちがある場合は、ハサミでカットして取り除いてください。(下地の防水層を傷付けないように注意してください。)

5.養生(1～2日)

- 接着剤が硬化するまで1～2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 接着剤が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤が硬化するまで、重量物の運搬やキャスター椅子などによる「しごき」を避けてください。

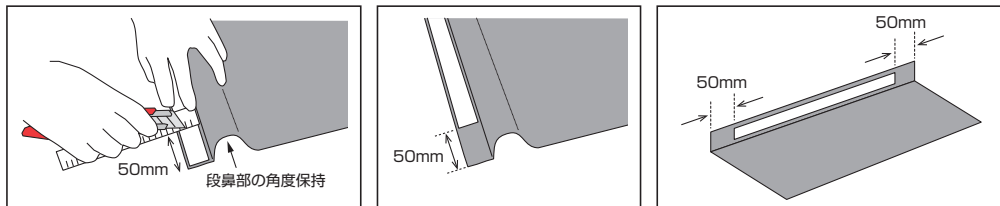
6.タキステップ両面テープの処理(通気確保)

- 通気を確保するため、いずれかの方法でタキステップの両面テープ端部の処理をしてください。
- ※タキステップ裏面から段鼻部を開いて押さえると、角度が広がり(変形)、納まり不良になります。いずれの場合も、段鼻部の角度を保ったまま処理するよう注意してください。



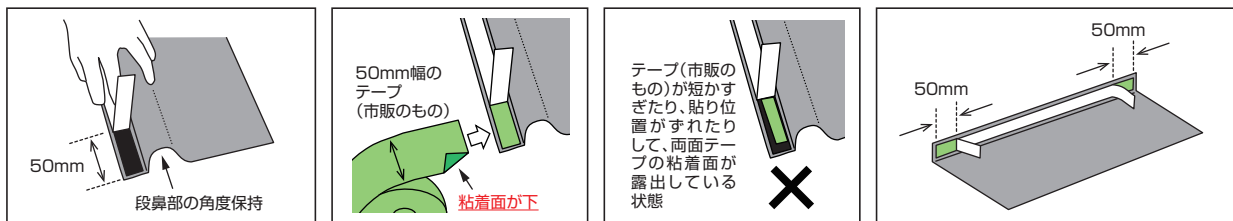
その1:両面テープをカットし除去する方法

- ①タキステップを裏返し、段鼻部が開かないように片方の手で踏み面部のシートを丸めて、段鼻部の角度を保持してください。
- ②両面テープの端部50mmをカットし、取り除いてください。タキステップを傷つけないよう、十分に注意してください。



その2:両面テープの上にテープ(市販のもの)を貼り付けて粘着力をなくす方法

- ①タキステップを裏返し、段鼻部が開かないように片方の手で踏み面部のシートを丸めて、段鼻部の角度を保持します。
- ②両面テープ端部の剥離紙を50mm剥がし、その部分に50mm幅のテープ(市販のもの)を貼り付けてください。
※剥離紙を剥がした部分(50mm)の両面テープの粘着面が完全にかくれるようにテープ(市販のもの)を貼り付けてください。
※テープ(市販のもの)が長すぎてタキステップよりはみ出さないように注意してください。



7.接着剤(タキボンド#607)の塗布

- ベンチレイシート張り付け後、できるだけ長く養生時間を設け、ベンチレイシートの上に接着剤を塗布します。
- 右図のように接着剤(タキボンド#607)をクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを取ってください。
- 張り付けは、最下段から順に上段へ向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業が最下段にいるようにしてください。

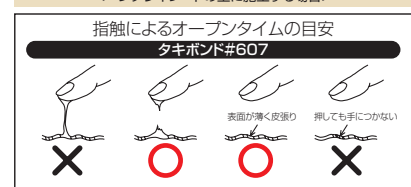
ベンチレイシートの上に施工する場合のオープンタイムの目安(20℃)

※通常より短めになります。

対象(20℃)	オープンタイム	張り付け可能時間
タキステップ・タキストロン	10～15分	20～25分

※オープンタイムが短すぎると、初期の接着剤が発揮されないため、タキステップが手前に押し出されたり、階段入り隅部に浮きが生じる恐れがあります。ご注意ください。

<ベンチレイシートの上に施工する場合>



試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス・
注意
P.333

8. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

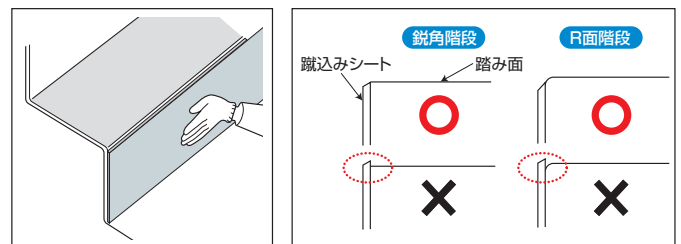
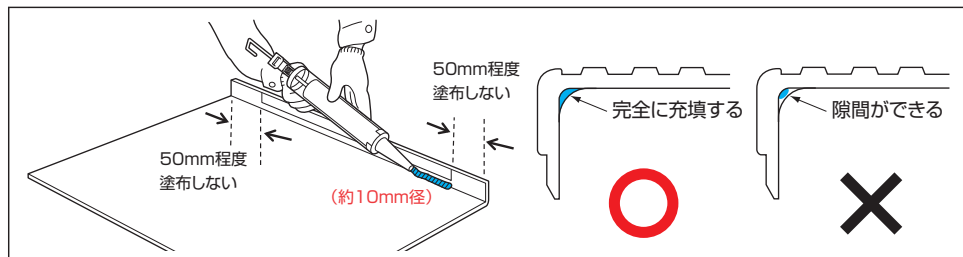
- タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。
- タキステップ裏面の折曲げ部に、タキボンド#650をコーキングガンにて約10mm径の太さで均一に塗布してください。

※両面粘着テープを剥がした部分(50mm)には塗布しないでください。

※タキボンド#650は通常の2.5~3倍程度必要となります。付属品だけでは不足しますので別売品を追加購入ください。

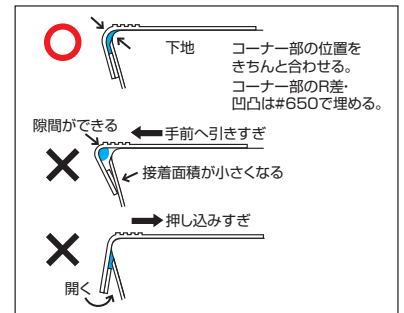
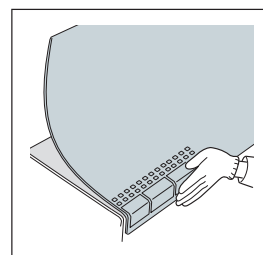
※タキボンド#650の塗布量が不十分な場合、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので注意してください。

※下地の状態が悪い場合には、別売品を追加購入してください。

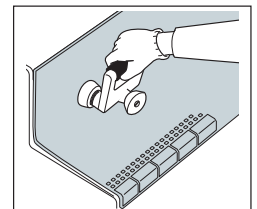


9. タキステップの張り付け

- まず、最下段の蹴込み面に、あらかじめ裁断しておいたシートを張り付け・圧着を行います。その際、蹴込み上端部からシートがはみ出さないように注意してください。
- 次に、タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)にあてがい、下地とタキステップ折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。
※段鼻部が折れ曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように、注意して張り付けてください。
※張り付け可能時間は通常よりも短めになりますのでご注意ください。

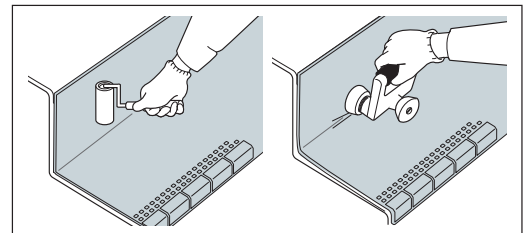
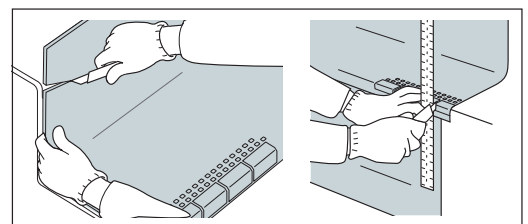


- 蹴込み面の張り込みは、コーナーローラーなどで軽く折りぐせをつけ、納まりにくい場合はガストーチで加熱して納めてください。
- 蹴込み面の張り込み時に、タキステップ裏面をカッターナイフ等で薄く切る方法は、タキステップの破損の原因となりますので行わないでください。
- 張り付け・圧着が完了した後、階段上端部からはみ出たシートを裁断してください。階段上端部からシートがはみ出ると、次のタキステップ段鼻部の納まりが悪くなりますので注意してください。
- 踊り場部分のタキステップは、最下段の蹴込み用シートとして裁断した残りを使用して張り付けてください。その際、タキステップのエンボス(凹凸柄)部分とフラット部分の境界で裁断し、廊下・踊り場用シートと張り継いでください。
- 蹴込み面端部と段鼻部端部にズレが生じた場合は、直定規で直線に仕上げてください。



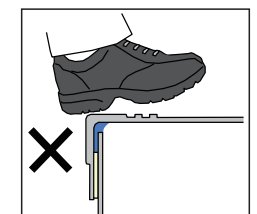
10. 圧着

- 階段入り隅部はコーナーローラーで、それ以外の全面はハンドローラーで十分に圧着してください。
- タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)
- 階段入り隅部圧着の際には、シートに傷を付けないように注意してください。



11. 養生(1~2日)

- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 段鼻充填剤タキボンド#650の硬化には2~3日必要ですので、次工程の処理の際などに段鼻を踏まないように注意してください。(段鼻に力がかかると#650が流動したまま硬化し、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります。)
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、重量物の運搬などは避けてください。



12. 端部処理

< マスキングテープによる養生 >

- タキステップの全周にマスキングテープによる養生を行ってください。両端から50mmの位置で、マスキングテープに印を入れてください。

※タキステップの前垂れ両端部50mmは端部処理を行わず、内部との通気を確保してください。

< タキシール#600の塗布 >

- タキシール#600の幅が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで端部処理を行ってください。

※タキステップの前垂れ両端部50mmは端部処理を行わず、内部との通気を確保してください。

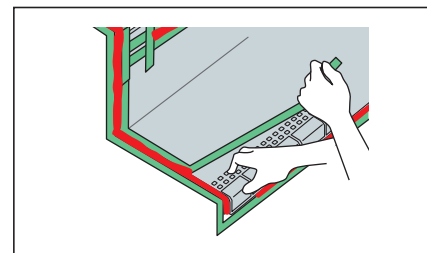
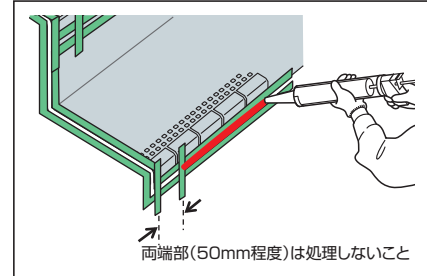
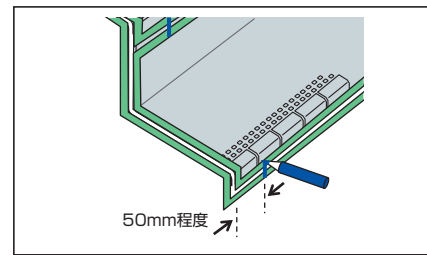
※タキシール#600は通常の1.2~1.5倍程度必要となります。

※タキシール#600はササラ面にかからないように処理してください。

※端部処理は、前垂れ部の浮きや段鼻の破損を抑制する効果がありますので、必ず実施してください。

< マスキングテープの剥がし >

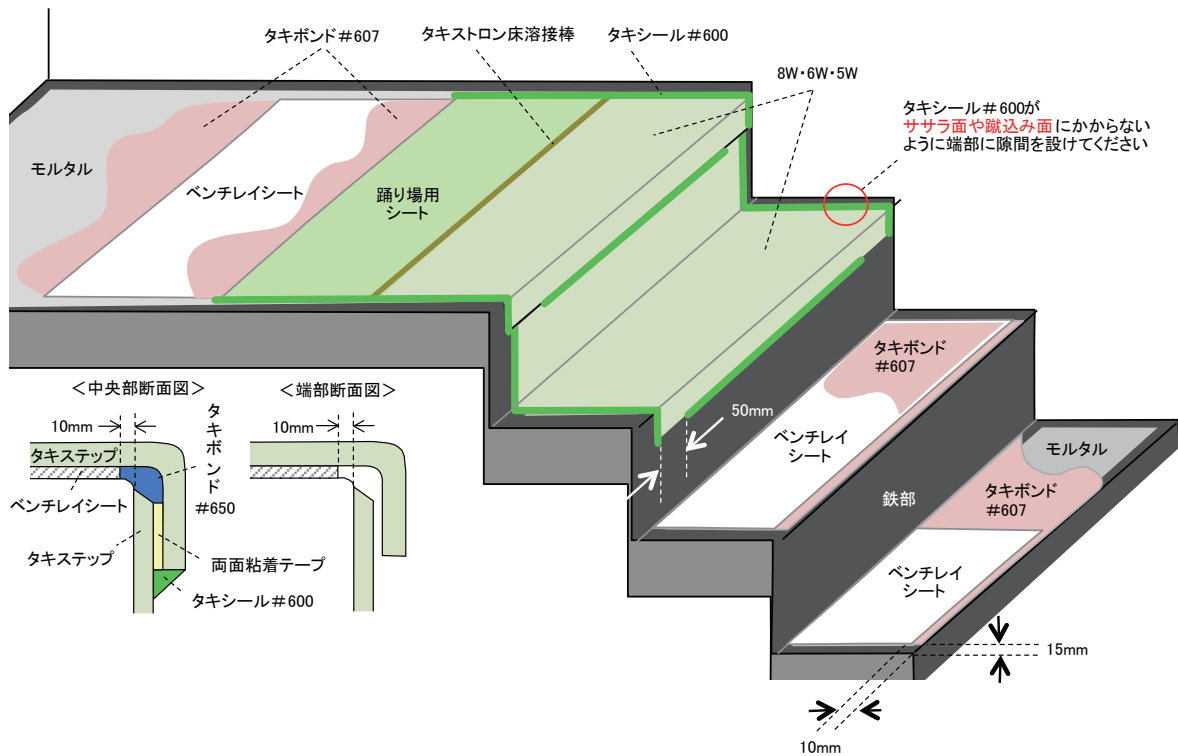
- マスキングテープは仕上げ後直ちにに取り除いてください。タキステップの前垂れ両端部の両面粘着テープが無い部分は、タキステップが浮かないように軽く押さえながら、マスキングテープを剥がしてください。



13. 養生 (2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため) また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。

タキロンシーアイ通気緩衝工法(ベンチレイ工法)標準納まり図



< 通気緩衝工法(ベンチレイ工法) > 施工副資材 標準使用量一覧表

		タキボンド#607	タキボンド#650 (付属品)	タキシール#600
タキステップ 8W・6W・5W	900タイプ	49段/18kg	3.6段/本	8.0段/本
	1200タイプ	37段/18kg	2.6段/本	7.0段/本

- タキボンド#650は、タキステップに付属されていますが、**下地の状態が悪く付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。**

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333